

広島県の大型観光キャンペーンによる経済効果

広島県では2004年から2005年にかけて大型観光キャンペーンが行なわれました。このたび公表された観光統計によれば、観光客数が大幅に増加し、観光キャンペーンが成功であったことをうかがわせるものとなっています。この大型観光キャンペーンで多くの観光客が広島県に訪れたことで、広島県経済においてもかなりの効果があったことが予想されます。今回は、広島県の大型観光キャンペーンの実施結果をもとに、2005年の経済効果を試算しました。

【調査・分析結果の要旨】

大型観光キャンペーンの経済効果

広島県における2005年の入込観光客数の実績、および広島県観光キャンペーン実行委員会による大型観光キャンペーン関連の各種アンケート調査などをもとに、観光消費額の推計および観光による経済効果の算出を行いました。算出に当たっては2003年時点の観光による経済効果を算出し、2005年の数値から差し引くことで、大型観光キャンペーンによる経済効果を算出しました。

この結果、大型観光キャンペーンによって、広島県においては992億円の経済効果が発生することになります。これを付加価値ベース(県内総支出ベース)で見ると586億円となり、広島県の実質経済成長率を0.5%程度押し上げることとなります。当研究所では、2005年3月に観光キャンペーンの事前推計を行ない、この段階では経済効果は856億円と想定しておりましたが、2003年に比較した県外客の伸びが17%増と、予想以上に増加したことなどから、事前推計を上回る効果が出ています。

(図表1) 大型観光キャンペーンによる経済効果まとめ

		1次効果		2次効果	合計	雇用誘発効果
		直接効果	間接効果			
2003年	製造業	303	139	69	512	3,164
	商業	243	111	142	495	9,148
	運輸業	763	147	46	956	8,646
	サービス業	1,096	244	264	1,604	19,690
	その他	0	268	322	590	3,681
	計	2,405	909	843	4,157	44,329
2005年	製造業	384	179	83	646	4,050
	商業	317	141	171	629	11,651
	運輸業	875	179	55	1,109	9,973
	サービス業	1,419	303	318	2,040	25,219
	その他	0	336	388	724	4,521
	計	2,996	1,139	1,014	5,149	55,414
差し引き	製造業	81	39	14	134	886
	商業	75	30	29	134	2,503
	運輸業	112	32	9	153	1,327
	サービス業	323	60	54	436	5,529
	その他	0	69	66	134	839
	計	591	230	171	992	11,085

(注) 四捨五入の関係上、項目別の集計値は合計と合わない場合がある。

(資料) 広島県「広島県入込観光客の動向」「2000年産業連関表」「県民経済計算年報」ほか

【調査・分析結果の概要】

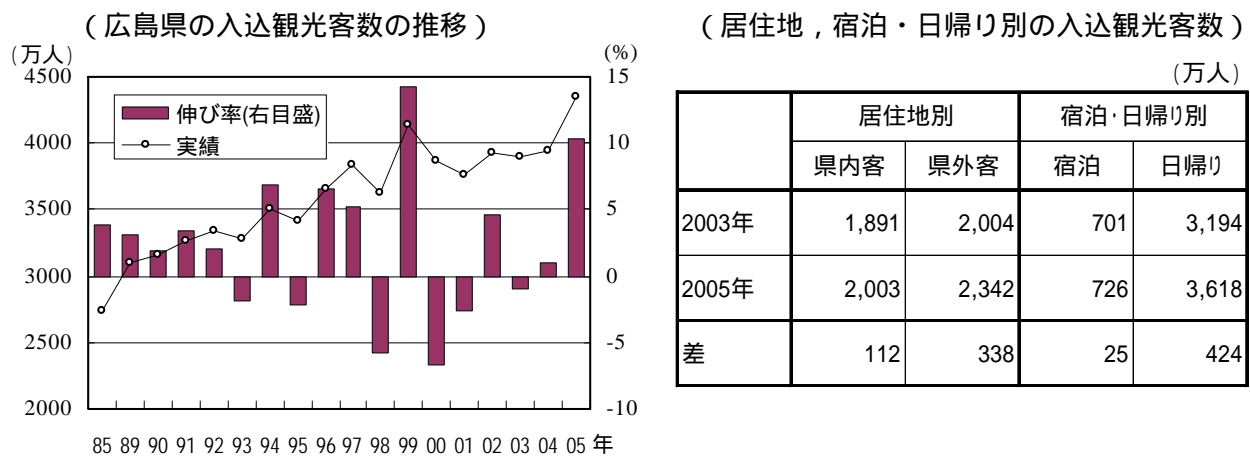
1. 広島県の観光客数

広島県の観光客数は 99 年のしまなみ海道開通で大きく伸びたものの、その後は停滞気味で推移してきました。しかし、このたびの「ええじゃん広島県」大型観光キャンペーンによって観光客数は大幅に増加しており、観光客数の伸び率は 99 年に次ぐ高さとなっています。

また、観光キャンペーンによる入込観光客数においては、県外客の増加が目立っており、JR グループのディスティネーションキャンペーンとのタイアップの効果も出ていると考えられます。

この結果 観光キャンペーンの実施前の 2003 年に比較した 2005 年の入込観光客数の伸びは 11.5% となり、当初の目標であった入込観光客の 10% の増加は達成されました。

(図表 2) 広島県の入込観光客数の推移と居住地、宿泊・日帰り別の内訳



(資料) 広島県「広島県入込観光客の動向」

2. 経済効果算定のための観光客数と観光消費額

大型観光キャンペーンによる経済効果を算定するに当たって、上記の観光客数の統計とともに、広島県観光キャンペーン実行委員会で行なわれたキャンペーン関連アンケートの結果を参考にしました。

経済効果を算定するためには、その基礎となる宿泊費、交通費、飲食費、土産物代といった項目別観光消費額を推計することが必要になります。広島県観光キャンペーン実行委員会により行なわれた各種のアンケート調査では、県外客の回答者が多く、特に県外客の観光消費を算出する際の参考としています。これらのアンケート結果によれば、事前に予想した以上に宿泊費や土産物代に支出しているといった傾向が見られました。

なお、今回の推計では上記アンケート調査結果を参考にするとともに、例えば宿泊費については広島県の主要宿泊施設の宿泊単価、飲食費については広島県の主要飲食店の飲食単価など、必要に応じて最新のデータ収集を行い、推計に反映させていきました。

広島県には様々な特色のある観光拠点があり、拠点によって宿泊単価や飲食単価、土産物なども異なっています。全体の平均値で算出した場合、これらの特色が推計結果に反映されないおそれもあるため、県内をいくつかのエリアに分割し、エリア別の交通手段、宿泊施設の状態などを加味しながら推計を行いました。

こうした推計方法により、広島県全体の項目別観光消費額を推計した結果、2003 年に比べ 2005 年の観光消費額はいずれの項目も増加しており、合計で 2,996 億円となりました。2003 年の観光消費額 2,405 億円に比べ、591 億円ほど観光消費額が増加したことになります。

(図表3) 項目別の観光消費額(推計)

	(億円)				
	交通費	飲食費	宿泊費	土産物代	計
2003年	763.0	564.3	532.1	545.9	2,405.3
2005年	875.1	747.0	672.2	701.7	2,996.0

3. 事前推計との比較

2005年3月に行なった事前推計によれば、観光キャンペーンによって856億円の経済効果が生じると予想していました。しかし、観光キャンペーンの実施結果による経済効果は992億円と事前推計を上回る結果となりました。

このように、事前の予想を上回る結果となったのは、入込観光客の中でも県外客が大きく増加したことによるものです。県外客の増加によって飲食費や土産物代が増加し、これが観光消費額の上昇につながることになりました。このため、土産物代に関連した産業となる製造業、商業が事前推計に比べかなり増えており、飲食費・宿泊費などの含まれるサービス業も増えています。

(図表4) 広島県の観光による経済効果の推計

	1次効果		2次効果	合計	雇用誘発効果
	直接効果	間接効果			
製造業	81	39	14	134	886
商業	75	30	29	134	2,503
運輸業	112	32	9	153	1,327
サービス業	323	60	54	436	5,529
その他	0	69	66	134	839
計	591	230	171	992	11,085

(参考)事前推計[2005/3]

	1次効果		2次効果	合計	雇用誘発効果
	直接効果	間接効果			
製造業	47	36	14	97	526
商業	31	30	31	91	1,424
運輸業	110	27	10	146	1,181
サービス業	317	40	47	405	5,091
その他	0	63	53	117	935
計	505	197	154	856	9,157

(資料) 広島県「広島県入込観光客の動向」

4. まとめ

広島県の大型観光キャンペーンによって、県外客を中心に入込観光客数が大幅に増加したことから、今回の観光キャンペーンは成功であったといえるでしょう。この結果、事前推計を上回る経済効果が出ており、これによって県の経済成長率に対するかなりの押し上げ効果があったものとみられます。

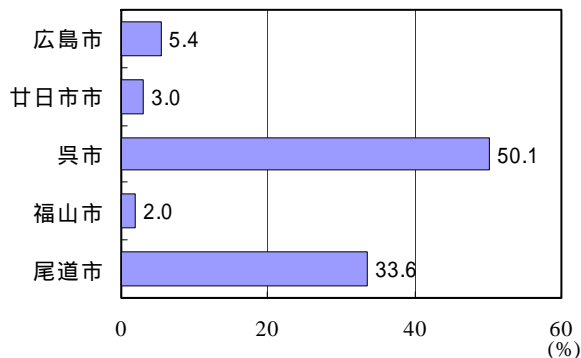
ただ、観光客が大きく増加した観光拠点があった一方で、観光客が伸び悩んだ観光拠点もあり、県内すべての観光地にメリットがあったとはいえない結果となりました。とはいえ、観光キャンペーンによって観光客数が増えれば、県内経済に大きなメリットがあることが明らかとなりました。県全体での観光振興を進めることにより、広島県経済の一層の活性化が期待できるものとみられます。

(参考) 大和ミュージアム(呉市周辺地域)による経済効果

今回の大型観光キャンペーンでは、県全体として入込観光客が増えたというより、特定地域への入込観光客の増加が、県全体の観光客の増加に寄与しているといった傾向が見られます。中でも、大和ミュージアムが開館した呉市、映画「男たちの大和」のロケセットのある尾道市への入込観光客数が大きく伸びていることがわかります。

主要観光拠点別に見ると、観光客数そのものは厳島神社、大和ミュージアム、平和記念公園の順となっていますが、2003年に比較した2005年の増加観光客数では、厳島神社は5,000人、平和記念公園は5.3万人にとどまっており、観光キャンペーンにおける大和ミュージアムの貢献度の高さを示していると思われます。

(図表5) 広島県の主要都市における入込観光客数の増加率(2005/2003年)



(注) 上記の市は2005年の合併後地域区分によるもの。従って、広島市には湯来町、廿日市市には宮島町・大野町/他、呉市には蒲刈町・安浦町/他、福山市には新市町・沼隈町/他、尾道市には御調町・向島町が含まれる。

(資料) 広島県「広島県入込観光客の動向」

(図表6) 主要観光拠点における観光客数

	(万人)		
	2003年	2005年	増減数
厳島神社	140.2	140.7	0.5
大和ミュージアム	-	122.9	-
平和記念資料館	109.8	115.1	5.3
安佐動物公園	46.0	49.1	3.1
大和ロケセット	-	44.1	-

(資料) 広島県「広島県入込観光客の動向」

以上の大和ミュージアムを含む、呉市周辺地域における経済効果を見ると、年次別の観光による生産誘発効果は2003年の183.2億円に対し、2005年は437.5億円となっており、広島県全体に占めるウェイトはかなり高くなっています。

また、観光キャンペーンによる経済効果(2005/2003年の差し引き)は、広島県全体が992.1億円であるのに対し、呉市周辺地域では254.3億円となっており、呉市周辺地域の経済効果は県全体の25.6%を占めていることがわかります。

このように、大和ミュージアムの存在は、今回の大型観光キャンペーンの成功にとって大きな役割を果たしたとみることができます。観光客を増やすためには、このような魅力度の高い観光拠点を設置することがいかに重要であるかを示す結果だといえます。

(図表7) 呉市周辺地域での経済効果

	観光消費額		生産誘発効果(単年)		経済効果(05/03差)
	2003年	2005年	2003年	2005年	
呉市周辺地域(A)	106.4	255.1	183.2	437.5	254.3
県計(B)	2405.3	2996.0	4156.9	5149.1	992.1
比率(A/B) (%)	4.4	8.5	4.4	8.5	25.6

以上

【問い合わせ先】

中国電力株式会社 エネルギア総合研究所 経済・産業調査担当
 担当者：まさかみ ひろさね 正上・広実
 電話：082-523-6442